

令和4年度 第2回茅ヶ崎市総合教育会議 会議録

議題	1 視察 2 議題 茅ヶ崎市実施計画2025構成素案について
日時	令和4年10月20日（木）午後1時00分～午後2時15分
場所	茅ヶ崎小学校 音楽室
出席者氏名	総合教育会議委員 佐藤市長 竹内教育長 赤坂教育長職務代理者 伊藤委員 大森委員 中馬委員 （事務局）機構順 岩井企画部企画経営課長 協領企画部企画経営課課長補佐 村上文化生涯学習部長 三浦こども育成部長 中山教育総務部長 島津教育総務部教育総務課長 高橋教育総務部教育総務課課長補佐 高橋教育総務部教育施設課長 白鳥教育推進部長 青柳教育推進部教育指導担当部長 （関係者） 吉野茅ヶ崎小学校校長
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 第2回茅ヶ崎市総合教育会議スケジュール ・資料2 茅ヶ崎市実施計画2025構成素案 ・資料3 「茅ヶ崎市実施計画2025」策定にあたってのコロナ禍の影響の整理（案） ・資料4 茅ヶ崎市実施計画2025重点戦略 ・資料5 茅ヶ崎市実施計画2025主要事務事業リスト ・資料6 茅ヶ崎市実施計画2025策定スケジュール
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者	0人

○教育総務課長

本日は、お忙しい中会議にご出席をいただきましてありがとうございます。

教育総務課長の島津でございます。よろしくお願いたします。時間になりましたので、第2回総合教育会議を開催します。

6月に開催しました第1回の総合教育会議では、茅ヶ崎市実施計画2025について協議をさせていただきました。本日は、実際の教育現場の様子や学校施設の状況を見ていただくとともに、実施計画2025の構成素案や同計画に位置づける重点戦略について、市長と教育委員会の皆様と協議をしていただきたいと考えております。会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきます。

- ・本日の次第
- ・資料1 第2回茅ヶ崎市総合教育会議スケジュール
- ・資料2 茅ヶ崎市実施計画2025構成素案
- ・資料3 「茅ヶ崎市実施計画2025」策定にあたってのコロナ禍の影響の整理（案）
- ・資料4 茅ヶ崎市実施計画2025 重点戦略
- ・資料5 茅ヶ崎市実施計画2025主要事務事業リスト
- ・資料6 茅ヶ崎市実施計画2025策定スケジュール

以上でございます。過不足等はありませんでしょうか。

それでは、ここからの議事進行につきましては、要綱第3条に基づきまして、本会議の議長であります佐藤市長にお願いいたします。市長、よろしくお願いいたします。

○佐藤市長

皆様こんにちは。それでは、次第に沿いまして、視察に入る前に本日の会議のスケジュールについて説明を事務局よりお願いいたします。

○教育総務課長

それでは、資料1をご覧ください。本日の流れでございますが、まず、茅ヶ崎小学校の様子の視察をさせていただきたいと思っております。特に重点戦略で特別支援学級や施設の再整備について位置づけられていますので、特別支援学級の様子や学校施設の状況を確認いただければと思います。視察に当たりましては、茅ヶ崎小学校の校長先生にご案内をさせていただきます。視察終了後、こちらの音楽室に戻りまして、実施計画2025について協議をさせていただきたいと思っております。

ご説明は以上でございます。それでは、この後、吉野校長先生にご案内をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

[視 察]

○佐藤市長

お疲れさまでした。それでは、次第に沿いまして、議題である茅ヶ崎市実施計画2025について事務局より説明をお願いいたします。

○企画経営課課長補佐

茅ヶ崎市実施計画2025の構成素案につきまして、企画経営課から説明させていただきます。資料については、資料2から6までを使って説明させていただきます。

まず、資料が前後しますが、資料6をご覧くださいと思います。現在の実施計画2025の策定のスケジュールについてご説明させていただきます。

令和4年度に入りまして、実施計画2025の策定方針を策定し、上半期では庁内で議論を進めてきたところでございます。庁内の各課、教育委員会事務局も含めまして事業の立案を行いまして、その内容について企画経営課と議論を重ね、構成素案が出来上がってきた段階でございます。

市民参加という欄のところがございますが、先日の9月にオープンハウスという展示型の自由意見提案会という形で、公共施設やスーパーマーケット等に出向いて、パネルを展示し、通りかかった方に構成素案の内容を説明させていただいて、300件程度のご意見をいただいたところでございます。あわせて、9月には市議会議員の皆さんとも意見交換を重ねておりまして、議員の皆様からいただいた意見も反映させて、本年12月に向けて素案づくりを進めていくという段階でございます。

資料2をご覧ください。資料2で、計画のアウトラインを示させていただいております。計画の目次となるものがございまして、第1章、それから第2章については、既に策定しております総合計画に定める本市のビジョン、それから実施計画2025の位置づけ等について、実施計画2025をご覧になっただけで分かるように、また市民の皆様を理解を深めていただくため、その概要を第1章、2章でまとめていきたいと思っております。

第3章では現状と課題というところで、コロナ禍による変化と課題等をここで改めて整理していきたいと考えております。このあたりの概要については、資料3でご説明をさせていただければと思っております。

第4章では、施策目標と事務事業の体系を示すことを考えておりまして、教育に係る分野についても1つ施策目標を立てていきたいと考えてございます。

第2章の右のほうに三角形で図示しておりますが、実施計画の上位にある総合計画で

は、将来の都市像と政策目標というところまでを既に決定事項としてご置きます。実施計画2025では、政策目標の中をさらに細分化して施策目標を掲げ、その実現に必要な事務事業の整理をしていきたいと考えております。この部分については、それぞれ各政策分野の個別計画、教育で言えば教育基本計画などがございまして、それらの目標とも整合を図ることが必要と考えておきまして、庁内で調整を進めていきたいと考えております。

第5章では、計画期間の3年間で特に重点的、分野横断的に取り組むテーマであります重点戦略を記述していきたいと考えております。その内容のアウトラインも、後ほど資料3でご説明させていただきます。

最後、第6章で個別の事務事業の概要を並べて掲載していくことを考えております。

計画の目次といいますか、構成については今このような形でアウトラインを考えているというところでご理解いただければと思います。

それでは、具体的な内容について説明をさせていただきます。資料3をご覧ください。

構成素案の中で計画策定に当たって、課題を整理しておりますが、特にこの2年間、コロナ禍の影響がかなり大きなものと考えております。策定済みと申し上げました総合計画につきましては、令和2年9月に市議会で議決をいただいたものとなっております。令和2年9月といいますと、ちょうどコロナが発生したのが令和元年の年末でございまして、新型コロナウイルス感染症のまん延が始まったところから半年程度のところで現在の総合計画は決定をしております。その総合計画の策定に当たって、市議会で議決をいただいたところでございまして、コロナ禍の状況をどう総合計画に織り込むのだというようなご質問をいただいております。

ただ、9月段階では、パンデミックが始まって半年程度であり、なかなか評価をしづらいという状況でしたので、その場では、具体的に実施計画の策定を進めていく際にコロナ禍の影響を整理していきますと申し上げたところでございまして、そんなコロナ禍の影響がなかなか読みづらいというところで、2年間、実施計画の策定を中断して延ばして2年経過して、計画期間を3か年とした実施計画をつくろうというところでございまして。

この2年間で少し見えてきましたコロナ禍による変化や課題を、資料3の左手側のボックスの中に整理をさせていただきます。大きく5点ほどあると考えております。

まず1点目として、今まで経験したことのない新型感染症への対応という点で、今後、この対応を教訓に危機管理体制がどうあるべきかというところが課題としてあるという認識を持ってございます。

続いて2つ目ですが、これは結果として良い傾向ですが、このコロナ禍で特に東京都心部は転出傾向に転じ、転出先として茅ヶ崎市をはじめとする湘南地域が選ばれている傾向にあり、その中でも子育て世代層の転入の割合は高い傾向にあるということが統計的に分かっております。こうした潮流を追い風に、世代間バランスが取れたまちの実現に向けて、子育て世代の転入促進の必要性を感じているところでございます。

続いて3点目、テレワークやサテライトオフィスなどの働き方の多様化という点で、同じように社会的な潮流、コロナ禍によって変化しました。茅ヶ崎市は、東京までほどよい距離でリモートワークもできますし、出勤し、対面での打合せもできるというようなところに位置しておりまして、こういった重要な働き方を形成、促進してまちの魅力にしていくなることが必要ではないかと考えております。

続いて4点目、5点目についてはややマイナスの影響でございますが、人の交流が抑制されてしまったというところがございます。多くの社会活動や地域経済などに急ブレーキをかけざるを得なくなってしまうております。地域活動や市民活動が一度立ち止まってしまった結果を踏まえ、新たな絆の再構築をしていく時期になっているだろうと考えております。また地域経済についても、まちの原動力というところがございます。コロナ禍を経て、業態も様々に変わってきているのかなど。例えば、eコマースが浸透したり、宅配型のビジネスが茅ヶ崎にも進出してきているというようなところで、2年前では考えられなかったようなところも踏まえて、影響を受けた業種の再興をどう促進していくのかという点を課題であると認識しております。

最後に孤独・孤立の深刻化というところで、なかなか会って対面で人の関係がつかれないという中で、子育て世帯、高齢者、障がい者などで困り事を抱えている方の状況を把握して、孤独・孤立しない体制の整備が必要というような、変化とそれに対する課題を今認識し、整理したところでございます。

それを踏まえまして、資料の真ん中あたりになりますが、先ほど議決をいただいたと申し上げました総合計画にどうそれを落とし込むかというところを整理しております。中心的な考え方として、総合計画の将来の都市像であります「笑顔と活力にあふれ みんなで未来を創るまち茅ヶ崎」というところは、今申し上げた課題を踏まえますと、ますます重要なことだろうという認識を持ってございます。

総合計画では、7つの政策目標と1つの行政経営という8つの目標を立てております。それぞれに今申し上げた課題をどう反映させるといいますか、結びつけていくかということ

ころを中段で整理しております。本日は総合教育会議でございますので、特に教育、あるいは子育て支援という点でいいますと、政策目標1がそれに該当するところでございます。課題で申し上げたように、転入世帯が増加しているという社会情勢を一つ追い風に、子育て環境、あるいは学校環境、子育て世代の関心の強い事項をしっかりと整備をして定住につなげていく。その一方で、困り事を抱えてしまっているような子育て世帯にきめ細やかな対応をしていく必要があるだろうという認識を持ってございます。

また、関係する政策目標として政策目標4がありますが、これは誰もがいつでも学べ、生きがいを持って自分らしく暮らすまちというところで、主に社会教育関係に関わる事項がこちらの目標に掲げられてございます。特に市民活動が停滞したことで社会教育、あるいは文化スポーツ活動などが少し滞ってしまっているというようなお声もお聞きますので、それらの再興を目指す。また、多様性のある人々の交流を取り戻して誰一人取り残さない社会づくりを改めて目指していく必要があるだろうというような認識を整理させていただいております。

これらを踏まえ、総合計画ですが、そのアクションプランである実施計画2025にどのような事業を位置付け、重点化していくべきかというところをまとめたところが右側でございます。今回、柱立てとして3つの方向性とそれに関連する9つの柱を掲げさせていただいております。こちらの詳細の説明について、資料4をご覧くださいと思います。

実施計画2025に当たっては、まずしっかり着実に行うべきものは行っていくというのが基本路線にございまして、そういったものを着実にこなしながら、特に政策的に推し進めるべきことというところを、方向性等を9つにまとめております。特に教育にかかるところで言いますと、右下に社会課題に対応できる「強く、やさしい」まちづくりというところを1つ方向性と掲げさせていただいております。子ども・子育て支援の取り組みですとか、障がいの有無によらない社会を実現する取り組みといったようなところに少し重点の柱を立てていきたいと考えております。その実現のためにハード的には学校施設の整備ですとか、あるいは子育て世帯へのソフト的な支援をしっかりと重点的に取り組んでいきたいというところを現段階で考えているところでございます。

最後に資料5でございまして、こちらに、現段階ですが、主要な事務事業をリストし、政策目標ごとに示させていただいているところです。特に教育に係るところで言いますと、3ページから4ページにかけて、政策目標1がございまして、こちらは市長部局の子ども育成部や保健所、それから教育委員会の主な事業をこちらに掲げさせていただいて

ございます。

それから、社会教育系で申し上げますと7ページでございます。7ページについては、文化生涯学習部の事業や教育推進部の事業などを掲げさせていただいております。重点戦略に位置づけるような事業を最初に書かせていただきまして、その後は部局ごとにまとめさせていただいているというところです。したがって、この並びが優先度ではありません。また、現段階で考えているところがございますので、ここにはないものも水面下で議論を重ねているところです。最終的に案の形になるときには追加されてくるものもございませし、場合によっては、ここにあるものも少し方針が変わるということもあるというところで、現段階の事業というふうにお考えいただければと思います。

最後に、最初にご覧いただきました資料6のスケジュールをご覧ください。今後の予定ですが、今申し上げた構成素案を基に、市民の方からのご意見なども踏まえつつ、さらには来年度の予算編成などもスタートしておりますので、その内容等を加味しながら、年末に向けて素案づくりを進めていきます。年明けに素案を政策決定した上で、パブリックコメントにおいて、市民の方などの意見をいただき、年度末には実施計画2025を確定していきたいと考えております。企画経営課からの説明は以上でございます。

○佐藤市長

説明ありがとうございました。それでは、早速ご意見等を伺っていきたく思います。ご意見あるいはご質問がある方は、また学校に対してお聞きしたいことがある方は挙手をお願いいたします。

○竹内教育長

ご説明ありがとうございました。最初にお示しいただきましたスケジュールについてお伺いします。オープンハウスを踏まえ、多くの方からいただいたご意見を整理されているのではないかと思います。その中でお話しできる範囲で、子育てや教育の分野に関する質問やご意見、関心の高さはどうであったかということ。それから、いただいたご意見の中で教育に関する質問やご意見の傾向が分かるようでしたらお聞きしたいと思います。

○企画経営課課長補佐

ありがとうございます。オープンハウスでまず全体のご意見、お一人で何件もご意見

をいただいた方もいますので、ご意見数としては396件のご意見をいただきました。そのご意見を分類別に仕分けをさせていただきましたが、特に教育に限定せず、子どもや子育てに関する事というような分類でまとめさせていただくと、396件中72件あり、割合でいいますと全体の18%程度が子どもや子育てに関する意見でございました。

主なご意見といたしましては、パネルに示したというところもございしますが、中学校給食の早期実現を希望するご意見、子どもの居場所づくり、小児医療費手当の拡充などを求めるご意見、学校施設の整備に関するご意見等を主にいただいております。

ちなみに、公民館では、勉強しに来た中学生とかからもご意見をいただいて、かなり学校の校則といたしますか、髪飾りをつけさせてほしいなどのご意見もいただきました。

○伊藤委員

細かなことなんですが、資料4で、子どもがいる家庭へのソフト的支援ということをおっしゃっていたかと思いますが、具体的にどういうことなのかなと教えていただければと思います。

○企画経営課課長補佐

ありがとうございます。資料5の3ページをご覧くださいますと、重点戦略の中で子ども未来応援パッケージがありますが、困り事を抱えた子ども、家庭への支援ですとか、産み育てやすい環境づくりを進めていくというところです。困り事を抱えた子ども・家庭への支援としては、ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業、子ども食堂への支援、子どもの居場所づくりの支援といった取り組み、あるいは育児支援家庭訪問事業で、特にヤングケアラーを含む要保護児童等の家庭に対しての家事支援サービスなどを今考えているところ、あるいは産み育てやすい環境づくりとしては、こども育成部のファーストプレゼント事業、保健所の産後ケアや妊産婦健診の充実などの検討を進めているというところがございます。

○伊藤委員

ありがとうございました。

○赤坂委員

吉野校長先生にお聞きしたいのですが、資料5の4ページ、政策目標1の下から2行目、「老朽化した小中学校の大規模改修等を実施し」とあって、私はこれが本当に大事で、重点戦略に入れるべきではないかなと考えるのですが、現場の校長先生としてはどう考えられますか。

○吉野校長

今年度、本当に長年の要望を聞いていただいて、保護者の方からもたくさんの要望があったトイレ改修なんです。今年度、東側の1階から3階まで全てのトイレをきれいに改修していただきました。先ほど見ていただいたとおりですが、これは本当にこれまで臭いがきついかとということがありまして、子どももトイレを我慢してしまうような状況もあったりしました。そういった意味で今年の改修は本当にありがたいと思っています。明日から子どもたちは使えるということで、とても楽しみにしている状況があります。

あと、学校施設のことに関しましては、確かに本校は創立130周年で施設が古い部分がありますが、特別これがないと困るということは今のところはないです。しかし、ご存じのようにこの環境の中でわがまを言わずによくやってくれていると思っています。細かいところはいろいろありますが、トイレをさらに改修してもらえたらありがたいかなと思っています。

○佐藤市長

関連して聞きたいです。トイレの改修ですが、男子トイレを全部個室にしたらまずいのですか。物理的な問題もありますが、多様化している中で個室にしてしまってもいいのではないかなと思うのですが、いかがですか。

○教育施設課長

学校トイレの個室化は、今から20年ぐらい前に1度チャレンジしたことがあります。結果としては、学校、あとは子どもたちに受け入れていただけなかったかなという実情がございまして。具体的に言いますと、松林小学校で、今回見ていただいたところと同じような縦列改修をしました。その際、女子も男子も天井まで完全に個室になるブース、完全に個室のものを造りました。しかしながら、使い勝手というか、清掃がうまく学校の中で折り

合わずに、10年ほど前に、男子トイレは個室半分を壊して、通常の小便器が並ぶように改修しました。この辺は、やはり使用者である子どもであり、管理する学校であり、その辺の使い方のバランスが取れてきたときにそういったことを再度やっていく可能性はあるのかなと考えております。

○佐藤市長

分かりました。

○大森委員

茅ヶ崎小学校校長先生、今日はありがとうございました。実施計画2025の構成素案と今日の見学をオーバーラップしながら、個人的に思うことが幾つかありました。1つは、先ほど出たように親御さんや事業の困り事でもあるかもしれません。それに着目すると、発達支援が必要なお子さんは自分たちはこうなので学校で助けてくださいということを声に出すことで、とてもいい環境になっていると感じています。一方で、取り出して授業をするというところも先ほどお話を伺うことができました。これについては、どの学校さんもそのようにできる状況になっているのかということがちょっと不安でございます。

幼稚園のときには分からない子どもたちが、勉強を教わることでいろんなことが多分見えてくると思います。そのときにどれだけ丁寧にその子に手を差し伸べてくださるかは、やっぱり学校の力量、いろんなことに関わってくるのではないかなと思います。この困り事という項目の中には、保護者が担任、学校と相談しやすい環境、例えばうちの子はちょっと算数が心配ですという声を上げやすい環境、それに対して先生方が、ではこんなふうにしてみましようということがもう少しどの学校も平均的になされることが、児童のためになるのではと感じました。比較的茅ヶ崎小学校はそこがスムーズにいらっしやるのかなと思いました。

それから、もう一つはコロナ対策ですが、幾つか的を絞って掲げてくださっています。非常に分かりやすいと思いました。茅ヶ崎という地域的な状況にきちんと課題をそぐわせて、今ある現状に柔軟に対応していこうと受け止めました。他の地域を参考にしつつも、今後とも茅ヶ崎が困っていること、茅ヶ崎が見せている状況に対する課題を見極めていただくようお願いしたいと思います。以上です。ありがとうございます。

○佐藤市長

ご意見としていただきました。

○中馬委員

本日は、いろんな施設を見せていただいてありがとうございました。とても印象に残っていたのは、いろんな特別支援学級の部屋数が多くて、それぞれの状況に合わせて使っていける、とてもいい環境にあるなというのは感じました。これはどこの小学校でもできることではないので素敵なことだなと思いました。

あと、先ほど見たランチルームなのですが、とてもきれいだったんですね。あと机が、テーブルと木のすてきな椅子とあったので、ぜひ今年度は使えるように、ああいうところでお食事することはなかなかないと思うので、とても大変だと思うんですが、知恵を絞って使っていただけるとすごくいいなと感じました。

○佐藤市長

ご意見ありがとうございます。

○竹内教育長

今日拝見したということもありますので、施設のことで分かる範囲でお話しできればと思います。この茅ヶ崎小学校は市内でも施設としては古い施設だと思います。それ以外にも茅ヶ崎市内には同じくらい古いところもあれば、新しいけれども、現状の中での課題を抱えているとかいろんなことがあるかなと思うので、今後、施設を整えていく、整理していく上で、今課題だなと思われるようなことが全体を通して何かあったら、また、どんなところから手を入れていく必要があるかというようなところがもしお話ができるようであればお願いしたいと思います。

○教育施設課長

様々にありますが、教育長が今おっしゃるような課題については、全国的に共通することとして、そういった課題に対応するために教育施設の整備の基本方針ができております。それに基づいて、現在、学校施設整備の基本計画の策定を進めたいと考えているところです。それにつきましては、教育長がおっしゃるような学校の古さであったり、あと

は、改修の状況などを踏まえて、どういう順番でどういうことをやっていくかということについてあらかじめの計画を立てたいと考えています。

緊急の課題としましては、今涼しくなりましたが、前までは暑かったのでやはりエアコンの話がございました。これにつきましては、実施計画2025の政策目標の中に書かれていますが、体育館のエアコンであったり、特別教室のエアコンであったりということに関して今後進めていくというような方向性がここで実施計画に載ってくれば、我々としては積極的に整備を早急に進めたいと考えているところです。

また、古い建物であります茅ヶ崎小学校、梅田中学校、松浪中学校に関しましては、今後、大規模な整備が必要になってくるのではないかと考えています。ほかにも古い学校はあるのですが、それと並行して、32校ありますので、さっき見ていただいた茅ヶ崎小学校の北棟のような大規模な改修といったものも併せて実施していく必要があると考えています。それについて、現在策定を進めております学校施設整備に関する基本計画で整理したいと考えてございます。

○佐藤市長

他にございますでしょうか。よろしいですか。それでは、本日の日程は全て終了しましたので、第2回総合教育会議を終了します。お疲れさまでした。